

平成27年度 鹿嶋市議会 議会報告会アンケート集計結果

1. 回答者数

鹿嶋地区	27名参加中20名（回答率：74%）
大野地区	14名参加中 7名（回答率：50%）
合計	41名参加中27名（回答率：66%）

2. アンケート集計結果

（1）参加者の年齢層（図1・図2）

- ・60歳代、70歳代の参加者が多く、この2世代で全体の78%を占めた。（図1）
- ・鹿嶋地区、大野地区ともに60歳代、70歳代の参加者が多く、地区による参加者の年齢層に差はなかった。（図2）

（2）参加者の性別（図3）

- ・男性の参加者が全体の89%を占めており、女性の参加者がほとんどなかった。

（3）参加回数（図4）

- ・今回初めて参加した参加者は全体の52%だった。
- ・2回目以上の参加者が44%おり、議会報告会の参加者が固定化しつつある。

（4）議会報告会の開催を知るきっかけ ※複数回答可（図5）

- ・チラシにより報告会の開催を知った参加者が全体の71%を占めていた。
- ・昨年度は議員・知人の紹介が30%ほどいたが、今年は14%しかいなかった。

（5）開催日時及び開催場所（図6）

- ・78%の参加者が適切であったと回答した。
- ・参加者の数が少なかったことから、開催日時及び開催場所や周知方法の検討を望む声が少数の参加者からあった。

（6）報告内容への関心（図7）

- ・関心のある内容だったと回答した参加者は全体の48%だった。
- ・視察を通じて何を学び、鹿嶋にどう生かしていくのか、また、鹿嶋の将来に向けた取り組みについての報告を望む声があった。
- ・議会改革の取り組みに対する期待の声もあった。

（7）報告時間（図8）

- ・52%の参加者がちょうど良いと回答した。

(8) 意見交換の進め方 (図9)

- このままで良いと回答した参加者が全体の48%いた。
- 少人数のグループでの実施を希望する参加者も11%いたが、参加者が少ないため、グループ分けできないのではないかと指摘もあった。
- 議論が深まるよう意見交換のテーマを絞った方が良いという提案があった。
- 市長が行っている車座懇談会のように、各地域に出向いて報告会を行ったほしい旨の要望があった。

(9) 議会報告会に対する評価 (図10)

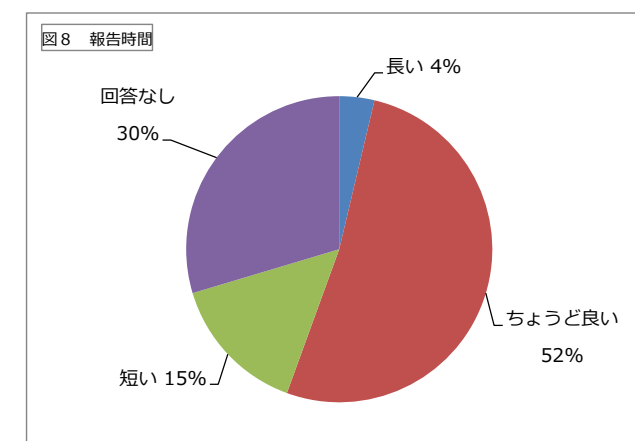
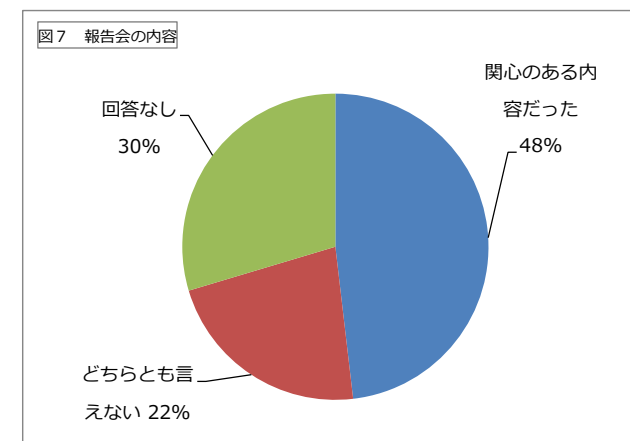
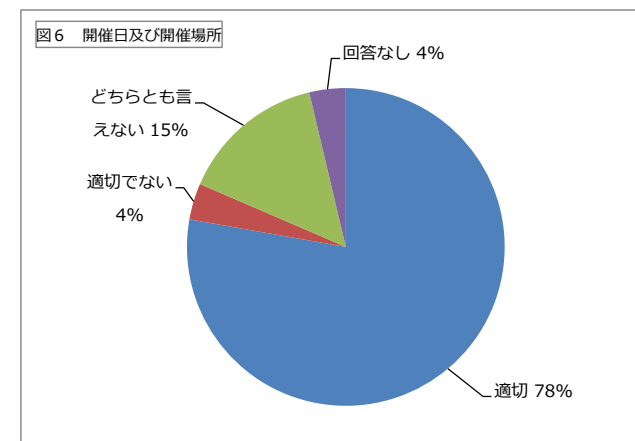
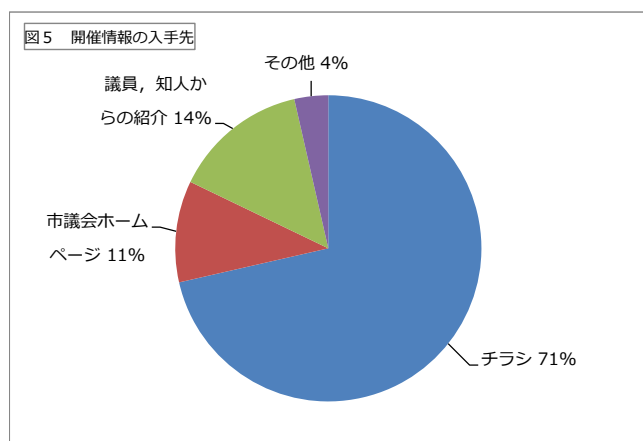
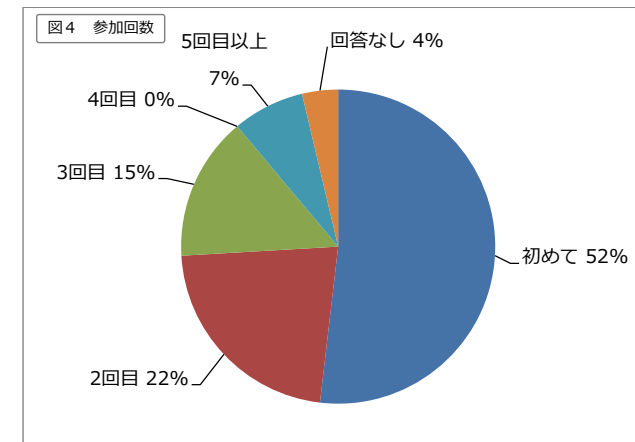
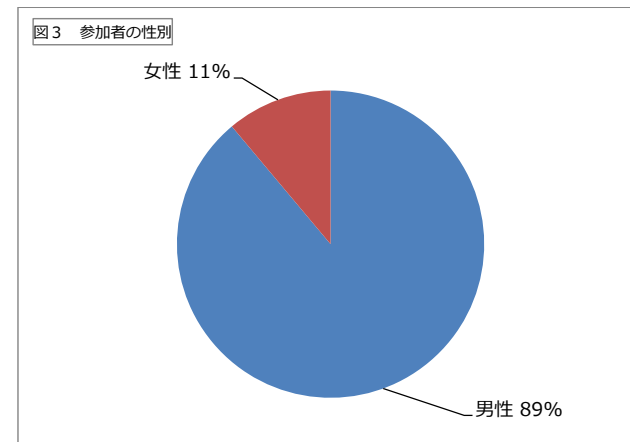
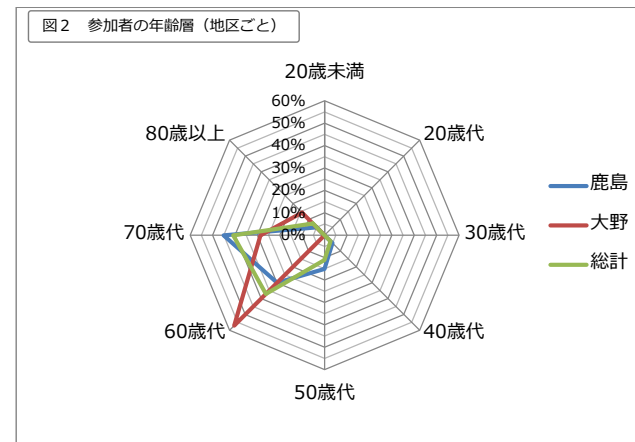
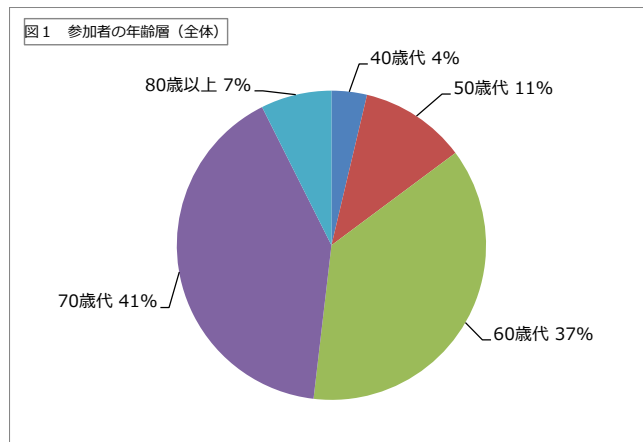
- 昨年度は参加者の72%から議会報告会を評価するとの回答があったが、本年度は参加者の56%にとどまった。

(10) 市議会への期待 (図10・図11)

- 市民との対話・意見交換を期待する声が最も多く、全体の29%を占めた。そして、議会からの情報発信及び議会からの政策提言を期待する声とともに23%で続いた。
- 今回初めて参加した参加者は、市民との対話・意見交換とともに政策提言を期待する声が多かった。一方、2回目以上の参加者は、市民との対話・意見交換を期待する声他に比べ突出していた。
- 行政のチェックに対する期待は、初めての参加者、2回目以上の参加者ともに、他の3項目(政策の提言、市民との対話・意見交換、情報の発信)に比べ低かった。

3. 今後の課題など

- 昨年度は81名の参加があったが、本年度は41名の参加しかなかった。参加者を増やす取り組みが必要となる。
- 参加者の固定化が進んできており、新たな参加者を呼び込む取り組みが必要である。また、リピーターを飽きさせない工夫もあわせて必要である。

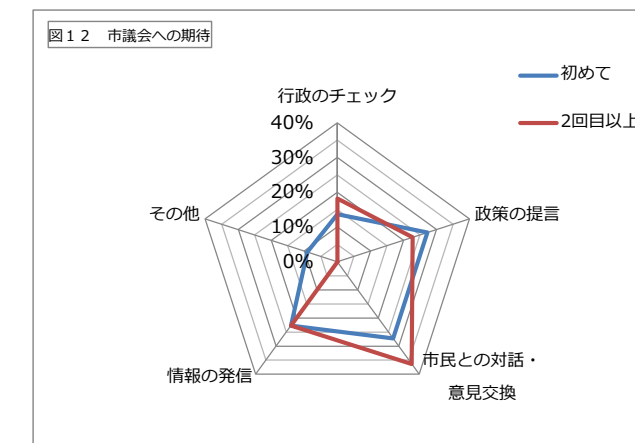
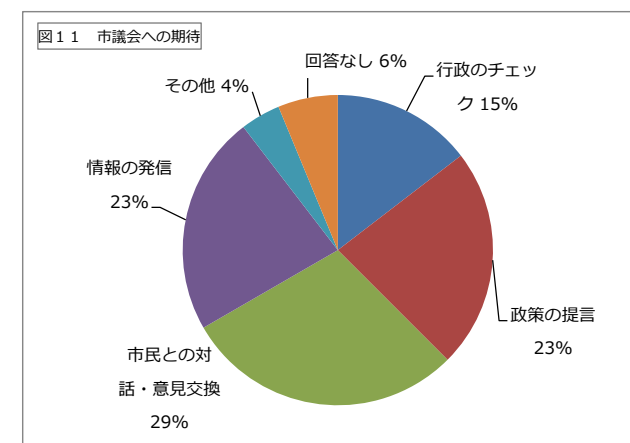
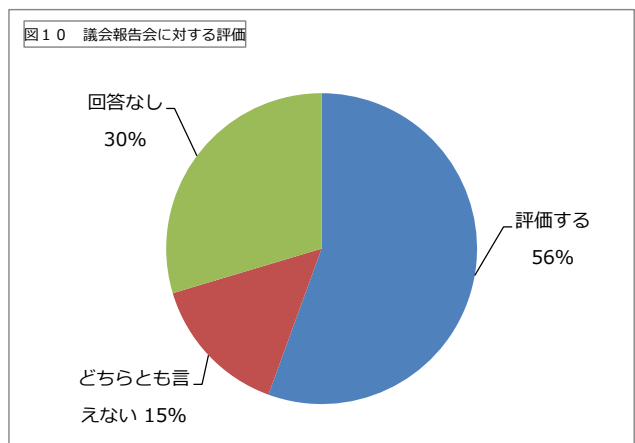
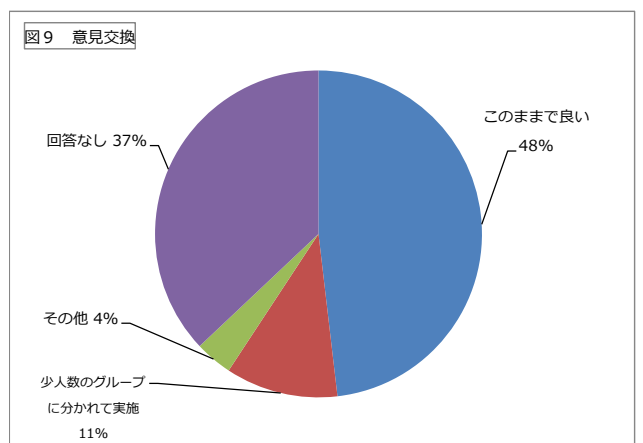


【ご意見】

- 参加人数が少ないという観点から、考える必要があるのでは。
- 市民の出席者が少ない。広報周知の方法に一考を。議会だより「とびら」が大変親しみのある内容になり、議会に対する関心が高まることを期待しています。

【ご意見】

- 報告のあと、どのようなアイデアがあるか知りたい。
- 鹿嶋の将来像について（特に、高齢者対策に対する具体的な取り組みについて）
- 議会改革推進について、とても良いものなので確実に進めてほしい。



【ご意見】

- 参加者が少なく、グループ分けできないと思うが。
- ターゲットを絞って、議論に深まりを。
- 質問は簡潔にしてほしい。
- 各地域へ出向いてください。市長の車座懇談会並みに。

【ご意見】

- 政治離れている若者の意見を多く取り込み、市政へ反映させること。特に18歳以上と参政権が引き下げられたことから、時代を担っていく若者（20～30歳）の生活への不満や悩みを吸い上げてほしい。
- 地方創生推進検討協議会・・・うまそうな提案ばかり。具現化に尽力願いたい。来年の報告会で進捗状況を述べていただきたい。
- 声が聞きづらい。文字が小さく読みづらい。

◎鹿嶋市議会へのご意見・ご提言

- 区長会をお願いして、区長の参加を図ったらどうか。
- 前向きな取り組みに大いに期待しています。
- 「地方創生」、「1億総活躍」のトップランナーとして鹿嶋が他にない活動（目玉）を望みます。
- 30名は少ないですね。もっと工夫したらと思います。
- 出席者が少ない。今後検討を要すると思う。